

モロッコでICPD+25に向けたアラブ・アジア人口・開発国会議員会議・視察事業を開催

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局を務める（公財）アジア人口・開発協会（APDA）は、モロッコ上院議会のホスト、国連人口基金（UNFPA）、日本信託基金（JTF）並びに国際家族計画連盟（IPPF）の後援のもと、9月18～20日にモロッコで「ICPD+25 に向けたアラブ・アジア人口・開発議員会議・視察事業」を実施しました。

本事業は、一昨年のヨルダン、昨年のバーレーンでの開催に続き 3 年目を迎え、UNFPA アラブ地域事務所（ASRO）との密接な連携により、国際人口開発会議（ICPD）から 25 周年を記念し 11 月に開催される ICPD25 周年ナイロビ・サミットに向け、ICPD 行動計画（PoA）の未完の課題を達成するための具体的な方策について、アラブ・アジアの国会議員の意見集約を行うことを目的として開催されました。

9月18日の会議初日は、ラバト市のモロッコ上院議会内で、19日の会議2日目は、カサブランカ市内のホテルで開催され、18カ国¹からの国会議員、国内委員会代表、並びに UNFPA、協力団体、メディア、国会職員ら、総勢約 60 名が参集しました。開会式では、アブドゥルハキム・ベンシャマシュ モロッコ上院議長が開会挨拶を行い、続いて増子輝彦 JPFP 副会長・APDA 理事が、APDA/JPFP を代表して主催者挨拶を述べ、また協力・支援機関を代表して、それぞれマルワン・アルフムード アラブ人口・開発議連（FAPPD）議長、ルアイ・シャバネ UNFPA ASRO 地域事務所長が挨拶を行いました。



【増子輝彦 JPFP 副会長 主催者挨拶要旨】

今回の会議を主催している APDA は、1994 年の ICPD に先駆けて開催された国際人口開発議員会議（ICPPD）を全面的に支援した。この ICPPD には世界 117 か国 300 名の国会議員が参集し、そこで採択された宣言文は、ICPD PoA の「前文」と「原則」に反映され、その理念を形成した。そしてこれが、持続可能な開発目標（SDGs）の基盤になっている。

ICPD の意義として、人口こそが社会の主体であり、持続可能な開発の目的は、全ての人が尊厳を持って生きることのできる社会の実現である、というパラダイム転換が行われた。国会議員が、ICPD の未完の課題に取り組むためには、

1. 1994 年の ICPPD 宣言文と ICPD PoA の理念を再確認し、ICPD で定められた「人権」や「リプロダクティブ・ライツ（RR）」を実現できる条件を構築することに注力すること
2. 女性が選択権を持ち、「望まない妊娠を防ぐためのリプロダクティブ・ヘルス（RH）の完全普及」を達成し、それをユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の枠組みの中心に置くこと
3. 日本を含む先進国で生じている極端な少子化でも、持続可能な社会を構築できないことから、その対策として、望む出産ができる環境をつくること
4. 環境保護、食料の確保、雇用の確保、男女を問わない教育など、各国の現状に併せて ICPD の理念を取り戻し、その広範な視点の中に人口問題を位置付け各国の政策を変化させ、必要な資源を動員することが重要となる。

さらに、国会議員活動は、SDGs を達成するための第 4 の柱であり、その主体的な活動が SDGs 達成の条件となる。今回の会議を通じ、私たちの課題を明確にし、ナイロビサミットに提言したい。

¹ アルジェリア、バーレーン、ジブチ、エジプト、インド、インドネシア、日本、ヨルダン、レバノン、モロッコ、ネパール、パレスチナ、フィリピン、スーダン、スリランカ、シリア、タジキスタン、チュニジア

開会式に引き続き、会議は以下のテーマで行われました。

セッション 1：ICPD の未完の課題を達成するには

セッション 2：人口動態・人口政策・SDGs

セッション 3：女性のエンパワーメント・ジェンダー平等・SRH の完全普及

セッション 4：ICPD の未完の課題を達成するための国会議員の役割

セッション 5：ICPD+25 に向けた国会議員宣言文採択の討議

セッション 4 では、末松義規衆議院議員が、アラビア語と英語で「SDGs 達成に向けた国会議員の役割」をテーマに発表を行い、特に重要な点として、(1) ICPD と SDGs の目的は同じであり、ICPD PoA の未完の課題を達成せずに SDGs を達成することは不可能である、(2) RR に関する複雑な解釈の議論は、宗教的、歴史的な違いを過度に強調する可能性があり、あまり生産的ではない。従って具体的に解決策を導くために、いかにその権利を達成するかという問いを議論の中心にすべきである、(3) 人口問題を解決に向けるためにも、子どもの頃からの教育が最も重要である、(4) これらに基づいて、国会議員の役割として、人口問題に取り組むために必要な国の予算を獲得し、この問題に対する国民の理解を深め、対処に必要な具体的な提案を行うことが最も重要である、と述べました。



宣言文の採択に当たっては、約 2 時間の熱心な討議が行われ、満場一致で宣言文が採択されました。ICPD から 25 年の間、中絶を RR に含めるといった ICPD PoA の合意を超えた解釈が進む一方、一切の中絶を認めない立法が行われるなど、世界では RR をめぐり価値の対立が続いてきた現状があります。今回、こうした対立には解決方法がないということが確認され、国民の福利を願う存在として、国会議員による現実的な対策を提言としてまとめた実効性のある成果文書となりました。同時に、パレスチナのように権利を保障する、いわゆる国家権力のない地域の課題をどのように取り扱うかという厳しい現実も突き付けられました。

【視察】

会議に引き続き、20 日の視察事業では、最初にかサブランカ市内にある、企業との連携による職業訓練センターを訪問し、続いて人間開発センターを訪問しました。両施設では、若者の失業がもたらす社会不安を重視しており、若者が希望を持って学ぶことができるよう、適切な仕事につなげるための取り組みについて説明を聞き、また若者が熱心にコースを受講する様子を見学しました。



続いて、モロッコの慈善家によって運営されている 2 つのセンターを訪問しました。1 つは貧困家庭や母子家庭の子どもたちのためのデイケアセンターに加え、母親たちのための語学クラスや生活技能習得のためのクラスも併設されており、母親が安心して働き、生活基盤を築くことができる環境を提供していました。2 つ目は文化センターとして、貧困家庭も安価に様々な芸術活動に関わることができるよう配慮がなされていました。

本事業の様子は、地元テレビや新聞にも取り上げられ、人口・開発問題の重要性を広く啓発する機会となりました。

バックナンバーはこちらからご覧いただけます ☞ <http://www.apda.jp/topics.html>



国際人口問題議員懇談会 (JPFP) 事務局
(公財) アジア人口・開発協会 (APDA)

TEL: 03-5405-8844

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。